

住みごこち一番・可児 ―～安心、元気、楽しいまち～の推進

晴れ渡る大空を見上げてごらね

みんなの心が
青空にもどりますように



特別寄稿

「ぬくもり」

可児市教育長 堀部好彦



市内小学校に勤めていた頃に出会ったとても素敵な外国籍児童のお話。6年生の男の子でした。

新学期が始まり、彼は通常学級の授業に加えて、日本語教室でも一生懸命に学んでいました。そんな彼は、休み時間、入学したばかりの新1年生の学級に足を運んでいました。自分と同じ外国籍の子を探し、その子たちに優しく英語で声をかけてくれていたのです。

初めての日本の学校、外国籍だから仲間もない、言葉もよくわからない。このような後輩たちの不安な気持ちに寄り添った行いでした。彼の共感力、人の役に立ちたいという実行力に、私は心を動かされました。

可児市は、多文化共生のまちです。お互いのよさを認め合い、人権を大切にするまちです。そして、そんなまちの将来を担う子どもたちを学校・家庭・地域が連携して育てています。可児市人権啓発センターの皆様も、その一翼を担ってくださっています。私が出会った「共感力と実行力」の彼は、その証ではないでしょうか。私は、このような子を育てる可児市の「ぬくもり」を誇りに思っています。

コロナ禍が2年目となります。閉塞感が蔓延している状況かもしれません。しかし、「ぬくもり」を忘れないで暮らし、この国難を乗り越えたいものです。

目次

- 特別寄稿 ①
「ぬくもり」 可児市教育長 堀部好彦
- 令和3年度の活動と令和2年度報告のあらまし ②
- 特集「高齢者の人権」について ③
- コーナー ④
心のドア ちょっといい話、「標語と300字小説」募集
「高齢者の人権講演会」募集、ぬくもりまゆちゃん³⁶
啓発のひかり

令和3年度の活動と令和2年度報告のあらまし

目標 啓発人口 10,000名／年

(本センターの活動に関わり合った人数)

理念 人は差異・多様ゆえに認め、学び合う人間主義で!

重点

・持続可能な開発目標(SDGs)

「誰一人取り残さない」ことを誓って!

「子どもの人権教育への取り組み」

(「互いに思い合い、支え合い、助け合う!」)

～大人たちのぬくもりある自覚から～

未来ある子どもの育みを!

人権相談



ご相談ください。コーディネートします!

ぬくもり教室



“相手への思いやりの心”を大切に!

開催校: 今瀬南小・桜ヶ丘小

ぬくもり講演会



「子どもの人権」
子どものサイン分かりますか 第2弾

学校・企業啓発・勉強会



人権教育サポート

ぬくもり標語・300字小説募集



応募総数: 2,982点

街頭啓発活動



アーラ・地区センター

人権本巡回制度

(ぬくもりボックス・フロー)

- ぬくもり本(人権本)を巡回
- 児童用(75冊)
- 全小学校・2コース・毎月巡回
- 300字小説入賞作品
- (自作挿画付)ポスター

読書しおり差し上げます。

機関紙(ぬくもり)

(全戸配布・年3回)



人権マンガ「ぬくもりまゆちゃん」入り

人権週間(12月4日～10日)

人権教育優秀校



ぬくもり標語・300字小説入賞最多等で
小・中学校を表彰

小学校: 春里小・南帷子小
中学校: 中部中・西可児中・広陵中

マンガまつり(人権マンガ)



市役所・マール・福祉センター

ホームページ

- センターの沿革
- お知らせ
- 心のビタミン
- 活動報告
- ぬくもり4コマ「マンガ」



検索数
2倍増

継続発信
(随時更新中)

特集 「高齢者の人権」について

※今回は、市民の皆さんがお困り時に直接的に役立つ内容を書せておきます。詳しい情報については、機関紙「ぬくもり」№64・№65に掲載してあります。
(本センターホームページ、機関紙「ぬくもり」検索)

超高齢社会における問題

我が国は、平均寿命の大幅な伸びや少子化などを背景として、人口のほぼ4人に1人が65歳以上の高齢者である「超高齢社会」です。このような中、高齢者であるということで介護者による身体的・心理的虐待や、高齢者の家族などによる本人の財産の無断処分など、経済的虐待といった高齢者の人権問題があります。

可児市の総人口に対する65歳以上の占める割合

可児市においても高齢化の進行により、人口101,249人のうち65歳以上の高齢者は28,385人と、総人口の28.04%を占めます(令和3年4月1日現在)。

住みなれた地域で、自分らしい暮らしを続けるには、 どうすればいいでしょう

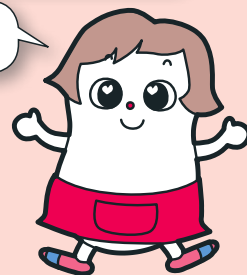


隣の家のおじいちゃん、最近物忘れがひどいって言ってたけど大丈夫かな？
どこか相談できる場所あるのかな？

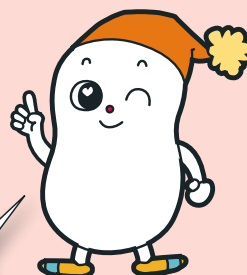
それなら**各地域包括支援センター**に相談できるよ。

相談場所

施設名	電話番号	担当地区
可児市地域包括支援センター	62-1111	広見東・広見・中恵土
可児市帷子地域包括支援センター	66-3377	帷子
可児市土田地域包括支援センター	66-7171	土田
可児市東部地域包括支援センター	64-5115	平牧・桜ヶ丘ハイツ・久々利
可児市北部地域包括支援センター	63-6200	今渡・川合・下恵土・兼山
可児市南部地域包括支援センター	66-6722	春里・姫治



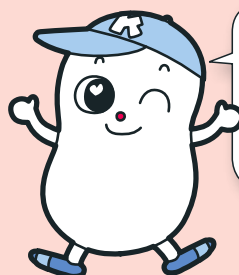
介護や認知症のことを気軽に相談できる「**もの忘れ・困りごと相談**」や認知症の症状・接し方を学べる「**認知症サポーター養成講座**」もあるんだよ。



問合せ先 高齢福祉課

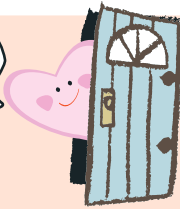
これからの取り組み・私たちができること

年齢にとらわれず、一人ひとりの個性や能力が最大限に尊重され、他の世代とともに活躍できる社会。そんな社会を実現するためには、地域の方々の協力が不可欠です。特に高齢者の方が社会活動を通じて、心の豊かさや生きがいを得られるよう、私たちは高齢者への思いやりや理解を深め、人権を尊重する心を育むことが大切です。



可児市人権啓発センターでも「**高齢者の人権講演会**」をやるよ！来てくださいね！
(P4参照)

心のドア
ちょっと
いい話



忘れられない 親切

ぬくもり まゆちゃん 36

作・画:miho/監修:k・s
《小さな冒険》



(当センター職員による作品です)

★3年前、学生時代の友達と、徒歩と電車による琵琶湖一周の旅に出た。楽しそうな場所や、美味しいものを見つけては立ち止まっていたため、一度の期間では回りきれず、結局一周するのに2年もかかってしまった。

★その旅の途中、駅がわからずウロウロとしている私たち。そこへ自転車で通りかかったおばあさんが声をかけてくれて、10km先の滋賀駅まで誘導してくれた。

★その方は、毎回先に自転車で目指す場所まで行き、徒歩の私達を待っていてくれた。普段走ることはあまりしないが、駆け足でおばあさんまで目指す。その繰り返しをして、滋賀駅に着くことができた。そのおばあさんの優しさと誘導のおかげで、電車に乗ることができた。電車の出発時間まで、わずかな時しかなかったので、お礼を言うこともなく別れてしまった。

★今となっては、二度と会うことは無いであろうおばあさん。感謝の気持ちでいっぱいです。

★だから、思う。「直接恩返しはできないけれど、他の人の力になれることをして、いただいた恩を次の方に送っていきたい」。おばあさんからいただいた恩を、少しでも次へ送っていけたらと思います。今は老人の方に席を譲ったり、困っている人には勇気を出して声をかけている。
(S・K)



募集

ぬくもり人権啓発
「標語と300字小説」

第21回

テーマ

「感謝・希望・勇気・友情」の大切さ、尊厳について

*小説は題名、会話を入れること

応募資格

市内在住の人(小中学生)(高・一般)

応募方法

はがきの表に住所・氏名・電話、裏に作品(小説1点、標語2点まで)

応募締切

9月3日(消印有効)

入賞作品数

標語30点・小説7点

入賞発表

11月初旬本人通知

(小中学生は、学校から)

作品展示(入賞作品)

人権週間前後(11月28日~12月15日)

に市図書館で展示。また機関紙「ぬくもり」等に掲載

*入賞者には、表彰状と図書カードを贈呈

*小中学生は学校を通して応募してください。

あて先

本センター宛(本表紙に参照)

募集

高齢者の人権講演会

「高齢者の心元気に!!」

テーマ コロナ禍でのうつ予防・頭の体操

講師 杉浦先生・橋本先生(岐阜医療科学大学教授)

日時 令和3年12月4日(土) 13:00~15:00

場所 福祉センター(大ホール)

*詳細は機関紙11月号にて

入場無料



「啓発のひかり」

★左手にスマホでネット、右手に受話器を持って9時からずっとワクチンの予約。幸いな事に1時間ちょっとたった時に電話がつながった。2人分いっしょに予約もできた。副作用が心配だけれど、ワクチンを2回打ってみんなの心が青空になったらいな!

(m・k)

★庭の木に鳥の巣箱を取り付けると、しじゅうからが見に訪れ、餌を運び始める。毎日のように一時間に何度餌を運ぶのか。時計を見ながら観察すると、二羽は五分を空けず餌を運ぶこともある。二週間程で六羽ほどが巣立つのを見届けた。巣箱を気に入ってくれたことに喜び、ちよっと淋しくなりました。(h・s)

★暗い気持ちで過ごしても一日。明るい気持ちで過ごしても一日。同じ一日なら出来るだけ楽しい気持ちで過ごしたいものです。
どうしても明るい気持ちになれない時もあります。そんな時は無理に頑張ろうとしないことも大切かなと思います。(y・m)

★大きくなったわが子に対して、「羨をきちんと出来なかったかな」等思い、自分を責めている時があります。しかし、私の中ではいくつになっても「かけがえのないわが子」であり続けています。自分を否定するのではなく、「かけがえのない自分」も大切にしようと思つた。
(m・h)